

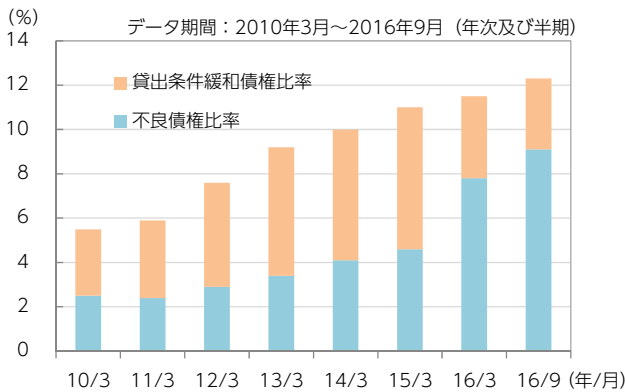
新興国レポート

# インド 不良債権問題解決に乗り出す

## 不良債権問題解決のためにインド準備銀行（RBI）の権限を強化

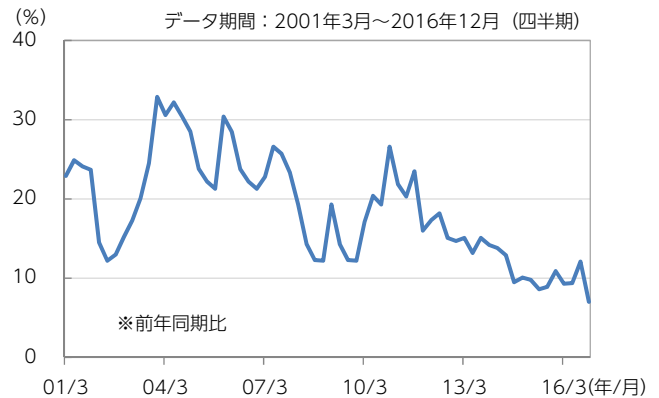
- ▶ 昨年5月の破産法制定に続き、モディ政権が銀行の不良債権処理に再び本腰を入れ始める。
  - ▶ 不良債権処理が企業の新陳代謝をもたらせば、インド経済の成長力が一段と高まる可能性も。
- モディ政権が、インド経済を圧迫しているとされる銀行の不良債権問題の解決に再び本腰を入れ始めたようです。
  - インドには複数の破たん処理関連法規や関連機関が存在しており、担当機関による解釈の違い等が不良債権の増加や企業の新陳代謝の遅れをもたらしてきたとされています。そうした状況の中、インド政府は昨年5月に破産法を制定し、関連法規を一本化すると共に破たん処理専門家機関や破産委員会の設置に関する新たな規定を設けました。しかし、破たん処理開始の意思決定プロセスの整備が不十分であったこと等もあり、破産法制定後も不良債権は増加を続けています。
  - インドの銀行が抱える不良債権は2016年3月末時点で約6.1兆ルピーと1年前に比べて倍近くに増加し、銀行の貸出残高の約7割を占める公営銀行の割合が不良債権残高全体の約9割と高くなっています。民間銀行に比べて審査基準が緩い点等が原因として指摘されています。インドの銀行全体の不良債権比率は2016年9月末で9.1%と同年3月末の7.8%から悪化しています。また、貸出条件緩和債権（金融危機対応の一時的措置として返済条件を見直しても正常債権として分類できるもの）と不良債権を合計した問題債権比率は12.3%と1割を超えています。不良債権の増加等を背景にインドの銀行の貸出残高の伸び（前年同期比）は過去最低水準にあり、インド経済の逆風になっているようです。
  - 意思決定を迅速化し、スムーズに不良債権処理を進めるべく、インド政府は今般銀行規制法を改正し、RBIの権限・役割を強化しました。具体的にはRBIに破たん手続きを開始できる権限や、銀行に対して不良債権処理の助言や指示を行う委員会を任命する権限を与えました。また、不良債権処理決定に必要な債権者の同意の割合を金額ベースで60%に引き下げました。その他、処理を加速させるべく、不良債権比率の高い国営銀行2行（パンジャブ国立銀行とインド銀行）の経営陣を刷新しました。
  - 多額の不良債権処理は銀行の財務の安定性を損なう可能性があります。インド政府は昨年7月に2019年3月末までに7,000億ルピーの公的資金を注入する計画を発表し、支援を強化する意思を示しています。今回の取り組み等で不良債権処理が前進することとなれば、モディ政権への信頼がより高まるものと思われます。

図表1：インドの銀行の問題債権比率推移



出所：図表1はRBI、図表2はブルームバーグデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

図表2：インドの銀行の貸出残高推移



●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会